

9 (1) 家庭，技術・家庭（家庭分野）

I 本県が目指す家庭，技術・家庭（家庭分野）の授業

生活をよりよくしようと工夫し創造する資質・能力を育む家庭科，家庭分野の学習

II 教材研究の充実

家庭科における教材研究のポイントとその具体

小6「私も献立マイスター」の例

学習指導要領に示された目標及び内容を確認する

子供の視点から

子供や家庭，地域の実態把握

子供の家庭生活の状況，生活経験はそれぞれ違うことから，子供の興味・関心，知識・技能は様々である。内容に関する子供や家庭，地域の実態を丁寧に捉えるようにする。

例 子供や家庭，地域の実態把握

- ・子供たちは，既習の知識や生活経験から，食事は健康で豊かな生活をするために必要なものと漠然と捉えている。
- ・保護者に「献立を立てるときに大切にしていること」などについてアンケートをとり，家庭の実態を把握する。アンケートはクラウドを用いて任意かつ匿名で行うなどし，回答の内容の扱いにも十分配慮する。

題材の視点から

他の内容等との関連

学習指導要領のA～Cの内容や指導事項の相互の関連を図って題材を構成し，効果的な学習が展開できるよう配慮する。また，学校，地域における行事や日常生活との関連を図るなど，より身近な題材を設定するよう配慮する。

例 他の内容等との関連

- ・本題材では，内容B(3)「栄養を考えた食事」を主として扱うが，B(1)，(2)の項目や学校給食などの献立との関連を図り，日常生活に即して具体的に学習できるよう配慮する。また遠足・集団宿泊的行事などと関連を図ることも考えられる。

教材化の研究

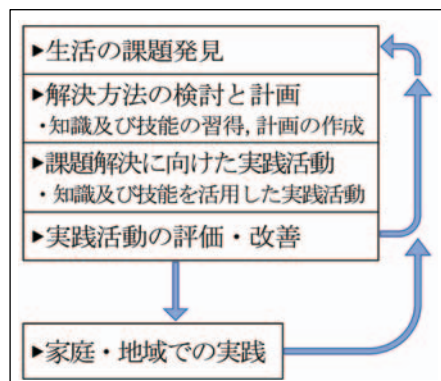
働かせる「生活の営みに係る見方・考え方」のうち，どの視点で生活事象を捉え，どのような問題解決的な学習を位置付けるかを考える。

例 教材化の研究

- ・「栄養を考えた食事」の内容を「健康」の視点で捉え，栄養のバランスを考慮した1食分の献立を考える場面を設定する。この際，色どりや味のバランスにも配慮できるようにする。

学習の過程の視点から

家庭分野の学習過程



日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し，様々な解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなど，課題を解決する力を養う。

例 生活の課題発見

- ・これまでの実習で作った「ご飯とみそ汁」のみの写真や，集団宿泊的行事等の食事で料理を自分で選んだときの写真，給食の写真などを比較したり，保護者アンケートの結果を見たりする場面を位置付ける。栄養教諭や保護者が，健康を考えて栄養のバランスがよい献立を工夫してくれていることに気付けるようにする。また，栄養の視点からみそ汁の実やおかずを検討することによって，栄養のバランスがよい献立を立てたいという願いをもつことができるようにする。

給食みたいに栄養のバランスがよい献立を立てられるようになりたいな！



例 実践活動の評価・改善

- ・献立について考えたことや工夫したことを振り返り，友と交流する活動を位置付ける。献立作成の目的や工夫を振り返る中で，各自の家庭での実践意欲につなげられるようにする。

Ⅲ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善例

【学 年】 小学校 第6学年

【題材名】 「私も献立マイスター」(全7時間)

【題材の評価規準】

内容 B 衣食住の生活(3)ア(イ)(ウ), イ

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせてとる必要があることを理解している。 ②献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解している。	1食分の献立の栄養のバランスについて ①問題を見いだして課題を設定している。 ②(計画を)考え、工夫している。 ③実践を評価したり、改善したりしている。 ④課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事について ①課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ②課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③生活を工夫し、実践しようとしている。

【主な学習活動と評価計画】

(☆…「記録に残す評価」、♡…「指導に生かす評価」)

時	○学習活動  児童の意識 ( 端末とクラウドの活用例)	評価の観点			評価方法	授業改善の視点 取組の具体例
		知	思	態		
1	<p>【ねらい】 私たちの1食分の食事内容について問題を見だし、課題を設定する。</p> <p>○問題を見だし、課題を設定する。  この献立は野菜が少なく、栄養のバランスが悪そう。こちらの献立のように工夫が必要だね。 自分で栄養のバランスを考えて献立を立てられるようになりたい。 </p>		☆ ①		<p>生活の中から問題を見いだして課題を設定する</p> <p> 健康の視点で、複数の食事の写真を比較したり、保護者アンケートの結果を振り返ったりして、栄養のバランスがよい献立のイメージをもつ場を設定します。</p>	
	<p>題材の学習問題：栄養のバランスがよい献立にするには、どうしたらよいのだろうか。</p> <p> 毎日給食を作ってくれている先生は、どんなことに工夫して献立を立てているんだろう。</p>				<p>☆発言やカードの記述などから「献立の作成について問題を見いだして課題を設定しているか」を評価する。(思①)</p>	
2 5	<p>【ねらい】 栄養を考えた食事についての知識を身に付け、1食分の献立を工夫することができる。</p> <p>○食品をグループ分けしたり、身近な献立を調べる活動をしたりしながら、必要な知識を身に付ける。  栄養教諭とともに、学校給食に使われている食品を三つのグループに分ける。 ○栄養のバランスを考えた献立を工夫する。  料理や食品を組み合わせて栄養のバランスのとれた献立を考えよう。 組合せを考えて立てられた。他の人はどんな工夫をしたのかな。 </p>	♡ ① ②	☆ ①	☆ ②	<p>1食分の献立の作成方法を理解する</p> <p> 端末内に保存されている主食・主菜・副菜カードを組み合わせ、献立に含まれる食品を三つのグループに分けて栄養バランスを確認します。また、色どり、味のバランスの観点についても子供の気付きから取り上げます。</p> <p>☆カードの記述から「栄養のバランスを考えた1食分の献立を工夫しているか」を評価する。(思②)</p>	
	<p>【ねらい】 考えた献立を発表し合い、評価したり、改善したりすることができる。</p> <p>○献立を発表し合い、栄養のバランスを考えた1食分の献立になっているか見直し、改善することができる。  赤のグループがまだ少ないよ。献立の主菜を変えた方がいいのかな？ みそ汁に合う赤のグループの食品を調べて、付け足したらどうかな？ </p> <p>○題材全体を振り返る。  献立の主菜を変えたり、食品を足したりすることで、栄養のバランスがよい献立ができた。これからは食品の組合せを意識して食べるようにしたい。</p>	☆ ① ②	☆ ③	☆ ④	<p>他者と多角的に検討し問いを深める</p> <p> 付箋ツールを使って献立の工夫点などを観点(栄養のバランスや色どり、味のバランス等)ごとに分類し、友と交流することで改善につなげます。</p> <p>☆カードの記述から「よりよい生活を目指して学習を生かそうとしているか」を評価する。(態③)</p> <p>献立と私たちの生活を関連付けてまとめる</p> <p>「健康」の視点から、献立作成で考えたことや工夫したことを発表し合い、一連の学習を振り返ります。</p>	